

くりまっこ

元気いっぱい 笑顔あふれる 栗真の子



ニュースポーツ「ボッチャ」「カローリング」で楽しんだよ!

1月16日(火)3・4限目、6年生は、栗真地区体育振興会の方々をお招きし、「ボッチャ」「カローリング」というニュースポーツを教えていただきながら、みんなで楽しい時間を過ごしました。ニュースポーツとは、1980年以降に考案・紹介された競技などの総称で、競い合うことより体を動かすこと自体を楽しむことに重きをおいたスポーツです。その中でも、最近最も人気があるのかボッチャだと言われています。ボッチャは、ヨーロッパで生まれたスポーツで、ジャックボールと呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うゲームです。

また、カローリングは、氷上で行うカーリングをフロアで手軽にできるように考えられた、全く新しいスポーツです。フロアコートで、1チーム3人のプレイヤーが6個のジェットローラを、コートの先端にある直径90cmのポイントゾーンに向け、相手チームのプレイヤーとジェットローラを交互に走行してぶつけ合い、得点を競うゲームです。チームプレーを楽しむスポーツで、簡単なルールと使いやすい用具で、特別な技術も力も必要としないため、子どもから高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。

ニュースポーツは、一般的なスポーツとは異なり、運動能力の違いによって差がつきにくいので、どの子も楽しんでいる様子が見られました。1月18日(木)には、5年生も、ボッチャとカローリングを体験し、楽しい時間を過ごしました。

ボッチャのルール

6球ずつボールを投げ、どれだけ目標球(ジャックボール)に近づけられるかを競う。個人戦とペア、3人ずつのチーム戦の3種目がある



◇◇◇ 創立150周年に向けて ~その3~ ◇◇◇

明治39年4月になると、修業年限2年間の高等科ができて栗真尋常高等小学校と変わりましたが、明治41年の学校制度変更のために再び栗真尋常小学校に名称が変わりました。年月とともに児童数が増えてくると、校舎の狭さを訴える声が多くなり、校舎を増築することになりました。明治44年1月に着工し、大正元年9月1日に北校舎が完成しました。土地の購入代金を含めた増築費用は4723円だったそうです。



【明治39年 栗真尋常高等小学校】



【明治42年 栗真尋常小学校】

大正7年4月になると、再び2年間の高等科を合わせ設け、栗真尋常高等小学校に変わります。そして、昭和4年12月には、南校舎1棟が増築されます。この時の校舎建築費用は、8841円だったそうです。

昭和9年4月になると、高等公民学校がつくられたため、高等科の募集が取りやめられ、高等科がなくなります。そして、昭和9年9月には、北校舎西側へ2教室が増築されます。2教室の増築でしたが、費用はおよそ4000円かかったそうです。

この当時のお金の価値は、今の時代に換算すると、どのくらいの金額になるのかな？



【昭和4年 南校舎の増築】



【昭和6年 集会の様子】

【参考】栗真小学校創立100周年記念「栗真郷土史妙」